

第1回人材確保対策ワーキンググループ・第1回外国人介護人材マッチング等支援ワーキンググループ報告

○報告事項

富山マッチボックス

・「人材確保・活躍パッケージ」

全庁横断で約300の支援策。「富山で働きたい」と思われる職場を増やす

・スポットワークのマッチングサービス

利用したことがない事業者が大半。スポットワークという働き方の普及重視。

事業者が応募者を選考できミスマッチを防ぎやすい。継続的に募集・マッチングできる。今後、説明会開催、広報媒体やウェブマーケティング活用

約220業者、約2,000人が登録。介護関係では12事業者

介護特定技能外国人 福祉・介護人材マッチング・定着強化事業

・県内の外国人介護人材は確実に増加

平成30年23名から令和8年1月現在839名。特定技能1号大きく増加。

県社協の調査では外国人を雇用する予定なしが7割。小規模事業所慎重

・受入れにあたっての課題

利用者との意思疎通や日常的なコミュニケーションへの不安。育成就労制度への移行に伴う外国人材の流出

・9月に事業者向け説明会

外国人介護人材受入の流れや留意点を周知。市町村担当者も積極的参加を

○協議事項

1がんばる介護職員応援事業表彰について

趣旨及び経過説明

- ・平成26年度創設。介護福祉士国家資格取得促進や社会的評価の向上を目的に実施
- ・R7・第2回WGで外国介護人材の表彰検討
- ・本会議で制度全体の見直しのご意見

課題整理

- ・福祉全体で人材確保考える必要
- ・同じ職場で働く職員に表彰の差
- ・名称変更も含め福祉分野全体
- ・5年以上の全職員

意見等

- ・表彰要件や名称の検討必要
- ・社会情勢や環境は大きく変化
- ・外国人材受入れや福祉分野で働く人の多様化を踏まえ広げると認識

まとめ

- ・福祉分野で働く職員全体を対象とし福祉分野全体を盛り上げる制度への転換
- ・本会議で承認が得られれば、職能団体等の表彰と県社協の表彰の役割分担を整理。表彰要件等は第2回WGで協議

2福祉人材確保にかかる現状・課題及び提案等について

小平委員

「AIエージェント活用による日本人介護士と外国人介護士の協働・定着支援」スマートグラスの活用

話題提供

大崎委員

厚生労働省の介護の魅力発信事業10年継続。今後は地域と連携した取組へ発展。PRツールやコンテンツの活用

中島座長

外国人介護人材受入では外国人全般、介護職特有、地域全体の課題を整理し役割分担、地域づくりと一体的な取組

意見

人材確保・育成・定着支援

- ・労働局との連携で気軽に相談して良いことがわかり積極的に連携したい
- ・県、県教委、県社協、労働局など既存の良いツールを活用していく仕組み
- ・人材確保の取組をターゲットごとに整理してストーリーとして見える化
- ・制度を知らない事業者へ活用場面ごとに周知できるしくみづくり
- ・カスタマー対策は県の積極的支援
- ・富山型ディサービスの支援

外国人材の確保・定着

- ・福井県では県職員が現地に赴き送り出し機関や受入れ機関との関係づくり
- ・教育機関等と連携し外国人が就職する仕組みづくり
- ・受入れ前からの理解促進、受入後の育成支援を一体的に進める
- ・マッチング支援、定着支援、資格取得支援、負担軽減を含めた総合的支援

○今後の方向性(案)

- ・WGでは外国人介護人材も含めて人材の確保・育成・定着、関係機関の連携等について、これまでも同様の課題が繰り返し提起されている。今後は課題共有にとどまらず、具体的な解決につなげる仕組みが必要。
- ・WG等で把握した課題を、実務者・専門家・事業者等による課題解決型プラットフォームにつなぎ実践的解決を図る仕組みを検討。
- ・市町村の取組状況や地域特性を踏まえ、関係者をつなぐ面的・伴走型支援について、次期計画を見据えて検討。